

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.136]]]]]](2004.7.1)

法律家の会が中国政府の野口孝行氏への不当判決に抗議声明

昨日(30日)東京の弁護士会館で法律家の会(北朝鮮による拉致被害者の救出にとりくむ法律家の会 木村晋介・藤野義昭共同代表)主催の『北朝鮮の拉致と難民問題を考える集い』が開催されました。同会では木村代表の挨拶、加藤博・北朝鮮難民救援基金事務局長の難民問題に関する講演、家族会から横田拓也・哲也氏(横田めぐみさんの弟)、飯塚耕一郎氏(田口八重子さんの長男)がスピーチ、また調査会代表荒木も報告を行い、密度の濃い集会となりました。この会場で同日法律家の会が発表した声明が朗読されました。以下ご紹介します。

### 野口孝行氏に対する不当判決に対する声明

2004年6月30日

北朝鮮による拉致被害者の救出にとりくむ法律家の会

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)から脱出した元在日朝鮮人2名を支援していた、NGO「北朝鮮難民救援基金」のメンバーである野口孝行氏に対し、中国の広西チワン族自治区崇左市の中級人民法院が、今月28日、不法出入国者移送罪により、懲役8月(実刑)及び罰金2万円の有罪判決を言い渡した。私たちは、この判決が極めて不当であり、断じて許されないものであると強く抗議する。北朝鮮の惨憺たる人権侵害状況から逃れて中国で生活する者は10万人から20万人にも及ぶと言われている。野口氏はそのような北朝鮮難民の支援活動を行うNGOの一員であり、昨年12月、北朝鮮から脱出した元在日朝鮮人2名を救出しようとして、中国の南寧で中国当局によって身柄を拘束された。野口氏が救出しようとしたのは北朝鮮から必死の思いで逃げてきた市民であり、彼らは難民の地位に関する条約にいう「難民」に該当する。難民は不法に入国し滞在することを理由に刑罰を科せられないものとされており、そのような難民を救出しようとした野口氏に対しても刑罰が科せられないことは、人道的立場や普遍的人権意識、国際法の観点からして当然の理である。北朝鮮難民救援基金及び法律家の会弁護士は、中国当局による野口氏の身柄拘束の不当性を一貫して主張し、日本外務省に対する働き掛けや、日弁連人権救済委員会に対する人権救済申立を行うなどしてきた。しかしながら、野口氏を勾留・起訴した中国当局は、第1回公判期日の日程を5月の連休の前日夕刻に公開し、公判を日曜日に開廷するなどの不意打ちを行なったうえ、全ての傍聴席(僅か12席)日本国領事関係者以外は中国司法当局関係者で前もって埋めるなどして、中国国内法で定める「裁判の公開」を事実上無意味なものとした。そして、今月28日に言い渡された判決内容は8か月の懲役刑(実刑)と2万円の罰金刑の併科の有罪判決であり、このような一連の刑事手続きの経過とその結果は、中国国内で人権が保障されていないことを改めて顕わにしたものといわざるを得ない。また、本件に関する日本政府の対応も、「野口氏は中国国内法に基づいて拘束されたものでやむを得ない」などと述べて事態を静観する消極的なものであり、裁判に関する情報を北朝鮮難民救援基金に対して一切開示しなかった。近年、北朝鮮による

日本人拉致問題が社会的に注目されている中で、日本政府による邦人保護の消極的な姿勢が問題視されている。本件でも、野口氏という日本人、そして野口氏が救出しようとした在日朝鮮人らの保護を積極的に行うべき義務を負う日本政府が、野口氏の身柄拘束と服役を静観することで自らの責務を放棄し、そして中国当局の行為を傍観することによって間接的に北朝鮮の人権侵害を黙過しており、日本政府が拉致問題でおかした過ちを真摯に省みることなく、野口氏の件でも前轍を踏んだことは誠に遺憾である。法律家の会は、今回の中級人民法院による不当判決に強く抗議し、改めて人道的立場や普遍的人権意識、そして国際法の観点から、中国当局に対し野口氏の早期釈放を求める。また、日本政府も中国当局に対し野口氏の早期釈放を要求すべきことを、強く主張する。

以上

#### 増元常務理事の選挙について本日知事に正式支援要請

これまで増元常務理事の選挙への都知事の協力依頼に関しては個別ルートでの非公式の打診はしていたものの、正式な文書による依頼はしていませんでした。知事は現在訪米中で、まもなく帰国の予定ですが、訪米前の記者会見で「オファーがない」との発言がありましたのであらためて依頼することになったものです。午後選对本部長である荒木が都庁を訪れ文書を手渡す予定です。また、一部対立候補陣営から「増元は隠れ創価学会である」とのディスインフォメーションを行われ、知事も「有力な宗教団体がついている」と言っておられますが、これについても要請文書の中で事実無根である旨記載しています。この点については本人が月刊『正論』7月号（6月1日発行）の櫻井よしこさんとの対談で隠さずに話しています。ご興味のある方はご一読いただけると幸いです。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.137]]]]]](2004.7.2)

『美保さん問題 検証結果報告会』開催

日 時 7月3日(土)午後7時～

場 所 甲府東高校会議室(中央線酒折駅徒歩5分)

参加費 無料主催 美保さんの家族を支援する会(会長・清水仁甲府市議)

お問い合わせ 井上泉さん TEL 090-9309-4669

増元照明常務理事関連日程

(2日金曜)

8:30 街頭宣伝 北千住駅北口

11:30 街頭宣伝 上野広小路口

アメ横商店街桃太郎

13:30 街頭宣伝 秋葉原電気街口

17:00 新宿駅東口・東南口・南口・ガード下交差点

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合もありますので予めご了解下さい。

政見放送

NHK 総合テレビ 7月2日(金)14:05～ 7月8日(木)7:30～

NHK ラジオ第1 7月7日(水)19:30～

テレビ東京 7月5日(月)5:00～ 7月6日(火)5:05～

TBS ラジオ 7月3日(土)5:00～ 7月6日(火)5:00～ 7月9日(金)5:00～

昨日都庁の秘書課に届けた支援依頼状の内容は以下の通りです。

平成16年7月1日 石原慎太郎先生

参議院東京選挙区候補者 増元照明

増元照明選挙対策本部長 荒木和博

参議院選挙に対するご支援のお願い

拝啓

知事におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、去る6月4日には記者会見におきまして増元照明の支持をご表明賜りありがとうございました。その後こちら側の不手際もあり知事に十分に意をお伝えすることができず、折角のご厚意に対して直ぐにお応え致さなかったことにつきお詫びを申し上げます。

私共は単に一人の参議院候補者を当選させるということではなく、北朝鮮との闘いという意味でも、この選挙は勝たなければならないと思っております。増元の訴えは「拉致問

題の解決を通して日本を安全に暮らせる国にする」という一本に絞っており、私たちもこの選挙戦の訴え及び当選後の増元の院内外での活動を拉致問題を解決するための重要なステップと考えております。また、この選挙での増元への投票はそのまま北朝鮮への圧力になります。これまで拉致問題、対北朝鮮政策に関して日本の世論をリードして来られた知事におかれましてもこの選挙の場で一緒に、金正日と闘って下さいますようお願い申し上げます。

なお、対立候補の陣営などから、「大きな宗教団体が付いている」との噂が流されているようですが、これは事実無根です（増元自身の家庭環境についても月刊「正論」7月号の櫻井よしこさんとの対談の中で本人が言及しております）。

以上ご連絡の不便に関するお詫び方々ご説明申し上げ、大変遅ればせながら、ここに以下のご支援を賜りたく、お願いする次第です。

- 1、 選挙ポスターに知事が推薦していることを記載したシールの添付  
（時間的な制約がありますが、可能であれば）
- 2、 街頭での応援演説  
（どの日でもできるだけ日程は合わせますが、特に最終日7月10日は午前10時～午後8時まで都心部の同じ場所で街頭活動を続ける予定ですので、ご都合の良い時間においでいただけると幸いです）

ご帰国後のお忙しい中誠に恐縮ですが政府が大多数の拉致被害者を放置している状態を、この選挙で何とか打開しなければと思っております。  
何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら知事の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

敬具

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.138]]]]]]](2004.7.3)

パソコンのトラブルのため送信が遅くなりました。また、一部の方には重複して届きません。ご迷惑をおわび申し上げます。

曾我さんと家族の再会をめぐる日朝の交渉について

昨日以下の談話を発表しました。この問題の本質を見誤らないように、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

#### 曾我ひとみさんの家族との再会について

昨日開催された日朝外相会談で曾我ひとみさんと家族との再会が今月 23 日までにインドネシアで行なわれることになった。

この問題について、誤解を恐れずに見解を述べておきたい。曾我さんの拉致事件で、現在の最重要事項はまったく明らかになっていない母ミヨシさんの安否である。家族との再会が一番近いところにあるのは事実だがジェンキンス氏と二人のお嬢さんの身辺に危険が迫っているわけではない。もちろん、曾我さんは一刻も早く会いたいと思っているに違いないし、私たちも再会が実現することを期待しているが、それによって拉致問題の本質から目を逸らせようとしている北朝鮮の手口にはまってはならない。

拉致問題の本質というのは、北朝鮮が半世紀にわたり、その国家目的にしたがって拉致を続けてきたということにある。政府認定者をふくめ少なくとも 100 人以上、おそらくはそれよりはるかに多数の日本人が拉致されているのは明らかである。しかしそのうちで北朝鮮が認めたのはわずか 13 人にしか過ぎず、北朝鮮当局は帰国した 5 人以外は死亡したと

今でも強弁しているのである。このような相手の言う「再調査」がいかにか欺瞞に満ちたものかはあらためて説明する必要もないだろう。

政府は最近認定者 10 人についての死亡情報をリークしているといわれる。これが拉致事件の幕引きを狙ったものであることは明らかである。またいわゆる「10 件 15 人」という政府認定自体が、この 15 人を救おうとするものではなく、それ以上の拉致事件を認めたくないという日本政府の姿勢の表れである。私たちはこれを絶対に許すことはできない。

拉致は北朝鮮が休戦以降も続けている朝鮮戦争の一環、重大な主権侵害行為である。一部の人間が行なった個別的犯罪ではない。被害者の救出は正攻法をもって北朝鮮に圧力をかけ、拉致被害者を解放せざるを得ないようにするしか方法はないのである。幸い、5.22 小泉訪朝でも制裁については「平常宣言を遵守する限り」という留保条件がついている。北朝鮮は核開発をやめておらず、またこれまで認めていない拉致被害者が多数いるのだからこの宣言自体事実上意味のないものだ。したがっていつでも制裁はできるのである。

独裁政権を延命させることは拉致被害者救出を遅らせるのみならず、北朝鮮の一般国民の苦しみをさらに長引かせることになる。悪とは強い姿勢で向き合う勇気が政府に、それ以上に私たち国民自身に求められている。

北朝鮮と、日本政府の談合を押し留め、正攻法から拉致の完全解決を実現するのは国民の力をもってするしかない。今のままでは拉致被害者は大部分が北朝鮮でその生を終えざるをえず、今後も拉致は行なわれるだろう。そのようなことは絶対に許してはならない。各位のご協力を切にお願いする次第である。

平成 16 年 7 月 2 日  
特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

#### 増元照明常務理事関連日程

( 3 日土曜 )

- 9:30 街頭宣伝 三軒茶屋
- 11:00 街頭宣伝 多摩センター駅
- 13:30 街頭宣伝 町田 109 前
- 15:00 街頭宣伝 八王子ユーロード
- 16:00 街頭宣伝 日野
- 18:00 街頭宣伝 立川駅北口

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合がありますので予めご了解下さい。

#### 政見放送

NHK 総合テレビ 7 月 8 日 ( 木 ) 7:30 ~

NHK ラジオ第 1 7 月 7 日 ( 水 ) 19:30 ~

テレビ東京 7 月 5 日 ( 月 ) 5:00 ~ 7 月 6 日 ( 火 ) 5:05 ~

TBS ラジオ 7 月 6 日 ( 火 ) 5:00 ~ 7 月 9 日 ( 金 ) 5:00 ~

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.139]]]]]]](2004.7.3)

#### 増元照明常務理事関連日程

石原都知事が外遊から帰国し、曾我さんの家族再会などをめぐる問題への発言が注目されています。知事は国民大集会の折などに映画「風とライオン」を引きあいに出し、国家とはたとえ犠牲を払っても国民を守るべきであると訴えています。これはまさに私たちの認識と同じですが、現在の政府の対応はこれとほど遠いように感じられます。

本来曾我さんの話は選挙と関係ないときにやるべきことで、こんなことをすればますます北朝鮮側に足下を見られるのは明らかなです。私たちはこのやりかたに強い懸念を持っています。選挙は残された期間が1週間となりましたが、本当に国民を守るためにはどうしなければいけないか、力を合わせて訴えていきたいと思えます。

(4日日曜)

14:00 ~ 18:00 有楽町マリオン前ロングラン街宣

候補者以外の主な参加予定者は次の通りです。

家族会：横田代表夫妻、飯塚副代表 寺越明男さん(寺越昭二さん長男)、  
内田美津夫さん(同次男)

特定失踪者家族：大澤昭一さん(大澤孝司さん兄)、斉藤由美子さん(斉藤裕さん姉)他

中條高德アサヒビール名誉顧問、漫画家さかもと未明さん他

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合がありますので予めご了解下さい。

#### 政見放送

NHK 総合テレビ 7月8日(木) 7:30 ~

NHK ラジオ第1 7月7日(水) 19:30 ~

テレビ東京 7月5日(月) 5:00 ~ 7月6日(火) 5:05 ~

TBS ラジオ 7月6日(火) 5:00 ~ 7月9日(金) 5:00 ~

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.140]]]]]](2004.7.4)

『美保さん問題 検証結果報告会』開催

昨日3日、甲府市で美保さんの家族を支援する会（会長・清水仁甲府市議）主催の報告会が開催されました。会ではこれまでの経緯が説明され、下記の決議を採択しました。

山本美保さんの事件については地元の支援者の皆さんの活動などにより、かなり詳しい話が分かってきています。できるだけ早くに調査会としても真相を明らかにするべく努力して参ります。それにしても、これが事件の隠蔽を意図したものだとなると、なぜこんな拙劣なやり方をしたのか、人によっては担当者が内部では明らかにできないので国民に警鐘を鳴らすためにわざと拙劣にやったのではないかという意見もあるのですが。

山本美保さんのDNA鑑定結果解明活動に関する決議（案）

本年3月5日、山梨県警は「山本美保さんの双子の妹美砂さんと、山形のご遺体のDNAが一致。自殺の可能性あり」と発表しました。

しかし、この県警発表に対し、多くの疑問点が浮上しています。それらの疑問点について専門家および関係者の方々の意見を聞きながら検証してきたところ、更に多くの疑問点が生じることになりました。

その検証結果を踏まえ、未だ残る疑問の解消と真相の解明のために「真実の一つ」の合い言葉のもと、以下の行動を展開していきたいと思えます。

山形のご遺体の司法解剖書、及び今回の発表の決め手となったDNA鑑定書については、捜査中ということで家族にさえ渡されておられません。今後、疑問点の解消のために両資料の支援者への開示および写しの引き渡しを捜査機関にもとめていくこと。

家族の知らないところで行われたDNA鑑定をはじめ、今までの捜査がどのようにおこなわれてきたのか、捜査の経過についての詳細な説明を警察諸機関に求めていくこと。

DNA鑑定的一致以外、何一つ美保さんと一致するものがない今回の発表について、現状では家族は納得することができないということ。一方で北朝鮮での目撃情報など美保さんが北朝鮮に拉致された可能性が依然として存在していることを世論に訴え、真相の解明のための署名活動を行っていくこと。

右、決議いたします。

平成十六年七月三日  
美保さんの家族を支援する会

## 増元照明常務理事関連日程

(5日月曜)

8:00 蒲田駅東口  
9:00 京急蒲田駅  
11:00 大森駅西口  
12:00 大井町(ヨーカドー、アトレ前)  
13:00 大崎駅東口  
14:00 中延  
18:00 五反田  
19:00 目黒

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合もありますので予めご了解下さい。

## 政見放送

NHK 総合テレビ 7月8日(木) 7:30 ~

NHK ラジオ第1 7月7日(水) 19:30 ~

テレビ東京 7月5日(月) 5:00 ~ 7月6日(火) 5:05 ~

TBS ラジオ 7月6日(火) 5:00 ~ 7月9日(金) 5:00 ~

## お願い

現在掲示板のポスターに櫻井よしこさんの写真入りシール(16センチ×6センチ)を貼っています。お近くの掲示板で貼っていないところに貼ってくださる方がおられましたらご協力をお願いします。詳しくは選挙事務所(03-5805-3161)までお問い合わせ下さい。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.141]]]]]]](2004.7.5)

石原都知事に要請

増元常務理事の選挙について、本日選对本部長である調査会代表荒木が都庁を訪れ下記の要請書類を含む資料を届けました。この内容は都知事向けということだけでなく現時点の方針とも言えるものです。選挙終了後に新たな 1000 番台リストの発表なども行う予定ですが、政府はあらためて拉致問題の深刻さを認識してもらいたいと切に望みます。

東京都知事 石原慎太郎先生

拝啓 知事におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先日は外遊中にぶしつげな協力要請をお届けし、失礼致しました。今回の選挙は増元照明一人を参議院議員にすれば済むというのではなく、これをステップに拉致問題の全面解決への足がかりをつくるものとしようと思っております。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

さて、その視点から見ると、5.22 総理訪朝を中心として政府が行っている拉致問題への対応は極めて危険なものであり、私たちとしては何としても正していかなければならないと考えております。

私たちが考える問題点は次の通りです。

- 1、曾我さんの家族との面会は、当事者にとっては極めて重要なことであっても、拉致問題そのものではない。政府はこの「再会」で拉致の本質から国民の目を逸らそうとしている。しかもこの交渉は参議院選挙中に行われており、再会も投票日直前に予定されている。これでは選挙の具とされるのみならず、それによって北朝鮮側からは足下を見られるという、極めて問題の大きいものである。
- 2、政府はさまざまなルートから政府認定者 15 人のうち未帰還 10 人が死亡しているという情報をリークしていると言われる。しかし、一方では北朝鮮側から 8 人（入国事実を認めていない曾我ミヨシさん、久米裕さん以外）は生存しているとの情報が入っているとの話もある。これらから考えられるのは小泉政権の方針が 10 人を死亡したことにして幕引きをはかるうとしているのではないかというものである。これは 9.17 のとき、確認もしていない北朝鮮側の一方的情報を「確認しました。亡くなっています」と家族に伝えたことと全く同じ発想である。
- 3、政府認定については田中実さん、小住健蔵さんについて警察庁が認定を求めているとの情報が 4 月ごろから出ているが、官邸は動いていない。また、甲府市で昭和 59 年に失踪した山本美保さんについて、3 月 5 日に山梨県警がいきなり DNA 鑑定の結果のみをもって全く体格の異なる身元不明遺体に結びつけようとするなど、いくつかの不審な動きが見られる。これらは拉致の規模が極めて大きかったことを隠そうとする

ものではないかとの疑いを捨て去ることができない。ちなみに調査会の合計 400 人の特定失踪者リストの中で拉致の疑いが濃いとしているのは現在 28 人だが、この数は調査が進めば相当な数になるものと推定されている。

以上の点は知事も前々から同様の趣旨のご発言をされて来ましたのでご理解いただけると思っています。つきましては、知事の口から現在の政府の対応にブレーキをかける発言をしていただきたいのです。それも記者会見ではなく、増元照明の応援演説という形で。増元は主張を「拉致問題の完全解決を通じて日本を安全な国にする」だけに絞ってこの選挙を闘っています。したがって選挙戦中に演説で語ることのインパクトは極めて大きく、それによってこの国の方向性も変えていけるのではないかと思いますし、現在の極めて危険かつ屈辱的な流れを何とか押しとどめなければなりません。何とぞご検討賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成 16 年 7 月 5 日

増元照明選挙対策本部長・特定失踪者問題調査会代表 荒木和博

#### 増元照明常務理事関連日程

(6日火曜)

- 8:00 新宿駅西口
- 10:30 吉祥寺駅北口
- 15:00 光ヶ丘団地・ケンタッキー前
- 18:00 東武東上線大山駅ハッピーロード
- 19:00 池袋駅東口

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合がありますので予めご了解下さい。

#### 政見放送

NHK 総合テレビ 7月8日(木) 7:30 ~

NHK ラジオ第1 7月7日(水) 19:30 ~

テレビ東京 7月6日(火) 5:05 ~

TBS ラジオ 7月6日(火) 5:00 ~ 7月9日(金) 5:00 ~

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.142]]]]]](2004.7.6)

参考情報 青木直人氏講演会（RENK東京学習会）のお知らせ

以下の講演会が開催されます。担当の三浦小太郎さんからのメールをそのままご紹介します。青木さんは気鋭の中国ウォッチャーとして、中朝関係の重要なポイントを指摘し続けています。興味のある方はぜひご参加をお勧めします。

<以下引用文>

小泉訪朝と日朝国交正常化にむけての動き、そして展開の見えない6カ国協議ますます等閑視されるかに見える北朝鮮の人権問題・拉致問題など、一見朝鮮半島情勢は膠着化しているかに見える。しかし、米中関係と北朝鮮の核開発を軸に見れば、今、北朝鮮が『処分』される時期は着実に近づいているのではないか。

一貫して米中連携による『北朝鮮処分』を主張してきたジャーナリストの青木直人氏を再び招き、公式には報じられていない半島有事シフトの動きと、北朝鮮の核開発が自ら招きつつある、金正日体制の断末魔を語ってもらう。

日 時：7月31日（土）午後6時開場 6時半開会

参加費：1千円

場 所：亀戸文化センター第1研修室（JR亀戸駅徒歩2分）

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-19-1 カメリアプラザ内

増元照明常務理事関連日程

（7日水曜）

8:00 品川駅港南口

12:00 新宿駅西口

14:00～18:00 渋谷八千公前ロングラン街頭演説

（横田滋・早紀江夫妻、有本嘉代子さん、漫画家坂本未明さん参加予定）

18:30 四谷駅

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合がありますので予めご了解下さい。

政見放送

NHK 総合テレビ 7月8日（木）7:30～

NHK ラジオ第1 7月7日（水）19:30～

TBS ラジオ 7月9日（金）5:00～

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.143]]]]]]](2004.7.7)

増元照明常務理事関連日程

本日櫻井よしこさんの応援の追加がありましたので再度送ります。

(7日水曜)

8:00 品川駅港南口

12:00 新宿駅西口

(ジャーナリスト櫻井よしこさん参加予定)

14:00 ~ 18:00 渋谷ハチ公前ロングラン街頭演説

(横田滋・早紀江夫妻、有本嘉代子さん、漫画家坂本未明さん参加予定)

18:30 四谷駅

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合もありますので予めご了解下さい。

政見放送

NHK 総合テレビ 7月8日(木) 7:30 ~

NHK ラジオ第1 7月7日(水) 19:30 ~

TBS ラジオ 7月9日(金) 5:00 ~

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.144]]]]]](2004.7.7)

一部の方に複数のメールが届きます。ご迷惑をおかけします。品川駅の街頭が 8:00 から、上田埼玉県知事の名前が「清司」になっているのが正しいニュースです。

#### 増元照明常務理事関連日程

( 8 日水曜 )

8:00 品川駅高輪口

14:00 ~ 20:00 新宿駅西口超ロングラン街頭演説

( 横田滋・早紀江夫妻、有本嘉代子さん、地村保さん、平野フミ子さん参加予定

18:00 上田清司埼玉県知事登壇予定 )

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合もありますので予めご了解下さい。

#### 政見放送

NHK 総合テレビ 7月8日(木) 7:30 ~

TBS ラジオ 7月9日(金) 5:00 ~

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.145]]]]]]](2004.7.8)

増元照明常務理事関連日程

(9日金曜)

8:00 新橋駅機関車前

9:00 築地

11:00 巣鴨とげぬき地蔵

(地村保さん、有本嘉代子さん、寺越明男さん、内田美津夫さん、平野フミ子さん参加予定)

13:30 新宿駅西口

(上記から地村さんが抜け蓮池秀量さん、奥土一男さん、浜本雄幸さん参加予定)

15:30 吉祥寺駅北口

17:15 立川駅北口

19:00 八王子駅北口

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合もありますので予めご了解下さい。

政見放送

TBS ラジオ 7月9日(金) 5:00 ~

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.146]]]]]]](2004.7.9)

増元照明常務理事関連日程

(10日土曜)

8:00 八王子駅北口

(家族会から浜本雄幸さん、有本嘉代子さん、寺越明男さん、内田美津夫さん、平野フミ子さん参加予定)

9:00 立川駅北口

10:00 国分寺駅南口

11:00 吉祥寺駅北口

13:00 中野駅北口

14:00 新宿駅西口

(上記に加え家族会から横田滋さん、横田早紀江さん、横田拓也さん、飯塚重雄さん、特定失踪者家族から大澤昭一さん、大澤茂樹さん、斉藤由美子さん、秋田正一郎さんら参加予定)

16:00 ~ 20:00 有楽町マリオン前

道路事情や前後のスケジュールの急な変更等によって街宣日程は変わる場合もありますので予めご了解下さい。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.147]]]]]]](2004.7.11)

御礼

特定失踪者問題調査会代表・増元照明選对本部長 荒木和博

各位におかれましてはこのたびの参議院選挙において調査会増元照明常務理事（家族会事務局次長）に多大なご支援を賜わり誠にありがとうございました。

あとは運を天に任せるしかありませんが、結果がどうであれこの選挙は価値のある闘いだったと思います。選挙という場を通じて家族会の皆さんが拉致問題を街頭で訴え続けたことで、通常の集会に参加することのない人にも問題の重要性を訴え続けることができました。また、候補者をはじめ多くの弁士が「100人以上の拉致被害者」と訴え、特定失踪者のご家族も一緒に街頭に立っていただいたことで、政府認定「10件15人」の壁を破る足がかりを作ることができました。

政府認定の未帰還10人については生存していることを訴え、また官邸サイドが死亡情報を流し、拉致問題の幕引きをはかろうとしていることへの警鐘を鳴らすこともできました。

それにしても当初予想もしていない程多数のボランティアの皆さんが集まっていたで、14000枚のポスターを掲示板に貼り付け、ビラに30万枚の証紙を貼り、95000枚の選挙はがきも送ることができました。街頭で雨の中、風の中、そして酷暑の中ビラを配り声を上げて下さった方、さらに私たちが全く見えないところで票を集めて下さった多数の方々、すべての皆様に心より御礼申し上げます。

今後の対応はもちろん当落によって大きく変わって参りますが、目的が100名を超える（おそらくはそれよりはるかに多い）拉致被害者全員の奪還であることは変わりません。とりあえず8月初めまでに1000番台リスト（拉致の可能性の高い失踪者）およびゼロ番台リスト（拉致の可能性が完全には否定できない失踪者）の追加発表を行ないます。拉致問題の全面解決を目指して増元照明ともども調査会一同今後も全力を尽くしますので、変わらぬご支援の程よろしく願い申し上げます。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.148]]]]]]](2004.7.12)

もういちど御礼

残念ながら当選は逸しましたが、純粹無所属の候補者がことごとく敗退した今回の選挙で、準備不足の中 40 万人近い方々にご支持をいただいたことは本当に大きな意味がありました。心より御礼申し上げます。

単に 1 人の候補者としても他に決してひけをとらない候補を擁立し、東京のみならず全国からかけつけて下さったボランティアの皆さん、私たちの見えないところで活動して下さった多数の皆さん、そして炎天下、休みもとらずに訴え続けて下さった家族会の皆さんなど、今回の選挙は「拉致問題を解決したい」という強い意志に支えられた選挙でした。自分自身のかつての政治活動をふりかえっても今回のような熱気のある選挙は全く記憶にありませんでした。これだけの要素が揃いながら結果的に敗北したのはひとえに選対の責任者である私の不徳の致すところです。ご支援下さった皆様に心よりおわび申し上げます。

しかし、この選挙は拉致問題全面解決のためのステップであり、40 万人の思いを絶対に無にすることのないよう今後も頑張ります。よろしく願い申し上げます。

特定失踪者問題調査会代表・増元照明選対本部長 荒木和博

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.149]]]]]]](2004.7.16)

参考情報

次の月曜日、以下のイベントが行なわれます。三浦小太郎さんからのご案内のメールを転送しますので関心のある方はご参加下さい。

-----  
7月19日(月・祝)デモ行進と集会のお知らせ

脱北者救援と人道支援家救出を訴えるデモ行進及び集会を下記の通り行います。守る会北朝鮮難民救援基金、RENK、そして韓国を初めとする各国のNGOの連帯行動となります。

・脱北者と共に歩もう---中国の脱北者強制送還抗議デモ

午前10時半 礪川公園集合(丸の内線後楽園駅すぐ) 11時出発予定、正午前解散

・中国政府は救援活動家を即時釈放せよ--無実の良心囚支援集会--

時間：1時開場 参加費1千円

場所：神田猿樂町在日本韓国 YMCA スペース Y(電話03-3233-0611)

山田文明(守る会代表)・チョン・ギオン(トリハナ)

加藤博(北朝鮮難民救援基金)・石丸次郎他参加。

問い合わせ：北朝鮮難民救援基金

電話：03-3815-8127

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.150]]]]]](2004.7.16)

非公開の失踪者 1 名日本国内で存在を確認

ポスターに載っていない非公開の失踪者で 1977 年に失踪した北海道出身の男性が日本国内にいたことが分かりました。すでにご家族も会って本人であること確認されています。この間ご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

これで特定失踪者として調査会のリストにある約 400 人のうち日本国内にいたことが確認されたのは公開 4 名非公開 3 名の合計 7 名となりました。もちろん、拉致でないに越したことはありませんので、「この人は拉致ではなく日本国内にいる」という情報でも、おもちの方はぜひご提供下さい。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.151]]]]]](2004.7.18)

お詫びと訂正

このところニュースのタイトルが 2 度間違っていました。16 日に発信したデモ行進と集会のお知らせは 149 号（7 月 16 日付）、非公開の失踪者 1 名が明らかになったニュースは 150 号（7 月 18 日付）でした。お詫びして訂正します。

所感

荒木和博

本日救う会全国協議会の幹事会が開催されました。それについては救う会からの報告がありますし、外部からどうこう言う筋合いのものではありませんが、7 年前救出活動がスタートしたときからかかわってきた者として一言コメントしておきたいと思います。

1980 年代から、拉致問題に誰も見向きもしない中でご家族を回り、地道な努力を続けてきたのは兵本達吉さんでした。平成 9 年、横田めぐみさんの事件が明らかになったのは月刊「現代コリア」ですが、その現代コリア研究所の所長は佐藤勝巳さん、「現代コリア」の編集長は西岡力さんでした。お 2 人はその後も救う会の中心的存在として運動を担ってきました。そして、その救う会の運動が始まったのは新潟市の小島晴則さんの自宅の 2 階からです。もっとも困難な草創期、小島さんの献身的努力がなければこの運動は続かなかったと思います。少なくとも、この当事者 4 人のうちの 1 人が欠けても今日の救出運動と 5 人の帰国が存在していないことは間違いありません。当事者の皆さんも、そして私たちもこのことは絶対に忘れてはならないと思います。

今回の事態には色々な経緯もあり、感情的なものもありますから簡単には解決できないかも知れませんが、救出運動内部の葛藤が拉致被害者を救うことを遅らせる理由にはなりません。私たちは今後の推移がどうなろうと、あくまで拉致問題の全面解決に向けて全力を尽くす所存です。

今回、私自身が幹事会で発言したことですが、拉致問題の解決のためには次の 2 点がどうしても重要であると思います。

#### 1、政府認定「10 件 15 人」の壁を打破すること

「10 件 15 人」を打ち破らなければ拉致問題は常に矮小化される危険を伴います。「10 件 15 人」というのは 15 人を救うための 15 人ではなく、政府が 15 人で「食い止める」ための 15 人です。それを認めていれば「5 人帰ってきたのだし、その家族 8 人も帰国ないし来日できたのだから、後の 10 人は話し合いで」という世論が出てくることは当然でしょう。しかし、それは 15 人以外のみならず政府認定のうちの未帰還 10 人についての解決をも遅らせることになります。日本政府の認定「10 件 15 人」の虚構を打破し、あくまですべての拉致被害者の救出をめざさなければなりません。

#### 2、最終的な目標は金正日独裁体制を打倒しなければ達成されないこと

拉致被害者の中には田中実さんや金田竜光さんのように身寄りがなく、特別なきっかけがなければ拉致されていることを誰も気づかない場合も少なくないはずです。しかし、それが日本国民である限り、私たちは全員救い出さなければなりません。また、曾我さんや寺越武志さんのように結婚相手が日本人でない拉致被害者の場合は帰国といっても様々な障害が伴います。

これらの障害を除去するには日本人が北朝鮮のどこにも自由に往来でき、北朝鮮にいる人が拉致被害者であろうがなかろうがすべて自分の意志で出国できるようにしなければなりません。この状態は今の体制を打倒しなければ絶対にもたらされません。そしてそれは、日本人以外の拉致被害者を救出し、日本人妻や帰国者が自由に往来できるようにする道でもあり、21世紀の今日でも人口の1%を収容所に入れ、そうでない一般住民からは餓死者が出るという、世界でも最悪の人権状況にある隣国の国民を救う道でもあります。また、北朝鮮の人権問題をもっと国民に認知させることは拉致問題が個別的な問題ではなく、北朝鮮という国家の本質にかかわる問題であること、したがって北朝鮮が「正常化」しない限り国交の「正常化」もありえないことの理解にもつながります。

先日、『拉致と強制収容所』（法律家の会編・朝日新聞社刊）の中の姜哲煥氏や小川晴久先生、山田文明・「守る会」代表らの書いた収容所の部分を電車の中で読んでいた時のことです。ふと本から目を離すと、そこには何でもない光景、車内で高校生が語り合っていたり、携帯をいじっている人がいるといった光景がありました。「収容所の話と自分の目の前にある日常のどちらが真実なのだろうか...」。まあ、どちらも真実なのですが、日本人拉致被害者であれ帰国者であれ北朝鮮の国民であれ、私たちはかの国の独裁体制のために人権を蹂躪され、場合によっては命をも奪われた人たちに対しては何の言いわけもできません。日本には何十年も前から拉致被害者を救う力はもちろん、北朝鮮の体制を変える力もあったのですから。

見過していれば平和な暮らしが、真実に近づくほどに恐怖や罪意識に直面しなければならぬと思うと憂鬱ですが、おそらくこれから想像を絶することが明らかになるはずです。冒頭に言及した葛藤もこれから私たち、そして日本国民皆に突きつけられる現実からすれば些細なことでしょう。何が問題の本質なのか、見失わないようにしていきたいと思いません。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.152]]]]]]](2004.7.23)

来週失踪者リスト追加

次の要領で 1000 番台第 6 次リスト（拉致の可能性の高い失踪）およびゼロ番台第 9 次リスト（拉致の可能性が完全には排除できない失踪）の発表を行ないます。よろしくお願ひ申し上げます。

日時 7月29日（木）14:00～

場所 友愛会館 9階第1会議室

東京都港区芝 2-20-12 TEL 03-3453-5381

（都営地下鉄三田線芝公園駅徒歩2分、JR 田町駅徒歩10分）

発表内容 1000 番台第 6 次リストおよびゼロ番台第 9 次リスト それぞれ若干名

報道関係者各位 これまでと同様事前に資料配付及び写真の掲示を調査会事務所でを行います。時間は当日午前 10:30 を予定しています。ただし報道については記者会見開始後にさせていただきますようお願いいたします。

お問い合わせは調査会にお電話されるか、メールの場合は [chosakai@circus.ocn.ne.jp](mailto:chosakai@circus.ocn.ne.jp) にお願ひ致します。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.153]]]]]](2004.7.29)

1000 番台 6 次リスト、ゼロ番台 9 次リスト

本日以下のリストの発表を行います（敬称略）

第 6 次発表 1000 番台（拉致の可能性が高いと判断される失踪者）リスト

木村 かほる 木村 かおる （当時 21 歳）

生年月日 : 昭和 13 年（1938）8 月 27 日

失踪年月日 : 昭和 35 年（1960）2 月 27 日

当時の身分 : 日赤秋田高等看護学校 3 年生

当時の居住地 : 秋田県秋田市

失踪場所 : 秋田県秋田市

失踪当時の状況 : 卒業試験を 2 日後、卒業式を 10 日後に控えていた。寮の部屋から午後 2 時過ぎに「ちょっと出かけてくる」と出て行ったまま失踪。同室の学生は「海へ行く」と聞いたような気がするが確信はない。寮の身の回りのものはかたづけられたり持ちだした形跡なし。当日は雪が降ったりやんだり曇ったりの天候だった。29 日（月）卒業テストを欠席。3 月 1 日（火）昼頃寮長より実家（八戸）の母へ電話。3 月 2 日（水）母が朝 7 時半八戸を出発。4 時秋田に着く 3 日（木）秋田署に捜索願を出す。2 月 27 日に同室の寮生は「保証人のところに行った」と報告。寮長は家族に「保証人のところに行くはずはないので嘘だと分かっていた」と言っている。家族が捜す過程で男鹿半島の漁師に「不審船が出没しているから北朝鮮に連れて行かれたのでは」と言われた。また秋田警察署では「同じような神隠し事件が続いている」と言われた。

1000 番台リストに入れた根拠

これまでの調査で突然失踪する理由が全く見当たらない

看護師の失踪は多く、政府認定者には曾我ひとみ、すでに 1000 番台に入れている失踪者にも国広富子らがいる

朝鮮からの引き揚げ者であり、地域的なつながりがある。

3 年後に能代市で工作員の漂着死体が発見される、通称「能代事件」が起きており、地域的にも工作員の出入りの多い地域である。

坂本 とし子 さかもと としこ （当時 22 歳）

生年月日 : 昭和 17 年（1942）年 11 月 22 日

失踪年月日 : 昭和 40 年（1965）6 月 9 日

当時の身分 : 家事手伝い

当時の居住地 : 東京都北区

失踪場所 : 自宅を出て

失踪当時の状況 : 自宅から 20 分くらいの編み物教室へ行くといって普段と変わらなく家を出て失踪。実家は浴場業を営んでおり、東十条と

千葉にお店があったので2件のお店を行ったり来たりして手伝っていた。お見合いで話がまとまり秋には結婚かという状況で本人も嬉しそうにしていた。

1000番台リストに入れた根拠

失踪する理由が存在しない。

失踪者の多い川口とも隣接している。

目撃証言がある。

(亡命者朴ミョンホ氏、TBSが取材し、6月下旬、お姉さんが訪韓し面会)

生島 孝子 いくしま たかこ (当時31歳)

生年月日 : 昭和16年(1941)6月14日

失踪年月日 : 昭和47年(1972)11月1日

当時の身分 : 区役所支所勤務

当時の居住地 : 東京都渋谷区

失踪場所 : 自宅アパートを出たあと不明

失踪当時の状況 : ・当日、一日の年休届けを出し勤め先を休む。衣類の入れ替えをし、夕方クリーニング店に衣類を出している。当日朝、同居していた妹に「夕方に電話があったら出かける」と言っていたが詳しいことは言わなかった。夕方戻ると出かけた後だった。

・翌日出勤時に着る服を揃えて出かけていた。翌2日夜、自宅に電話があり無言の一時の後、「今更仕方ないだろ」と男性の声とともに切れた。

1000番台リストに入れた根拠

失踪の理由が存在しない。

失踪直後に不審な電話があった。

目撃証言がある。

(亡命者呉吉男氏、TBSが取材し、1月に荒木が、6月に家族が訪韓し面会して確認)

---

第9次発表 特定失踪者0番台リスト(拉致の可能性が完全には排除できない失踪)

上田 英司(うえだ えいじ)(当時20歳)

生年月日 : 昭和24(1949)年7月25日

失踪年月日 : 昭和44(1969)年11月4日

当時の身分 : 大学受験生 ホテルのフロント、喫茶店でアルバイト

当時の居住地 : 東京都渋谷区

失踪場所 : 自宅アパートを出て

失踪当時の状況 : ・昭和44年11月4日午前、京都に行って来ると家主のおばあさんに言い残して黒のコートを着て紙袋一つ下げて出ていったらしい。11月初めに荷物を実家から送ったが、いつもは

返ってくる「受け取った」という手紙が来ないので不審に思い、同月 20 日頃電話してみて、いなくなったことを知る。アルバイト先、友人などに聞き込み、代々木警察署で家出人手続きをし、警視庁へも出向く。

- ・晩の番組を 7 時から 30 分くらいおばあさんのところへ行って観ていたという。
- ・11 月 4 日付ではがきがきている。これが最後のたより。
- ・高校卒業後、広島の予備校で 1 年間過ごし、昭和 44 年春から上京。文学を専攻したかったらしい。
- ・11 月 2, 3 日頃、喫茶店のアルバイトで金を貰ったので買ったと鉄瓶とコップを下宿のおばあさんに見せている。こんなのでお茶が飲みたかったと言っていたそうだ。両親が言ったとき、茶殻がその鉄瓶の中に残っていた。

松本 重行(まつもと しげゆき)(当時 48 歳)

生年月日 : 昭和 10 (1935) 年 7 月 25 日

失踪年月日 : 昭和 58 (1983) 年 10 月 17 日

当時の身分 : 漁師

当時の居住地 : 京都府舞鶴市

失踪場所 : 舞鶴市小橋地先海上

失踪当時の状況 : 漁船照和丸で刺し網漁業中に行方不明。船は同日無人の状態  
で漂泊していたのを発見される。

報道関係者各位 報道は本日 14:00 の記者会見開始までご遠慮下さい。

[[[[[[[[調査会ニュース Vol.154]]]]]](2004.7.31)

8月2日、政府に拉致認定を求める要請

法律家の会（木村晋介・藤野義昭共同代表）と調査会では8月2日（月）14:30に東京周辺の1000番台特定失踪者家族と共に内閣府を訪れ、総理大臣宛の未認定拉致被害者の認定を求める要請書を提出します。

要請書は法律家の会・調査会・特定失踪者家族支援委員会（真鍋貞樹委員長）の3者の代表名になるもので1000番台リストの失踪者の拉致認定を求める他、特定失踪者と政府認定者の間にある寺越昭二さん、外雄さん、武志さん、福留貴美子さん、田中実さん、小住健蔵さんの6人も拉致認定するよう求め、さらに1000番台リスト以外の特定失踪者や、それ以外の失踪者についても拉致の可能性を調べ、拉致と認められたときは迅速に認定するよう求めるものです。また、要請者および失踪者家族に総理が直接面会することも要請内容に入っています。

法律家の会では28日に開催された幹事会で1月の一斉告発以後に1000番台リストに入った15人の告発を9月末ないし10月初めに行うことを決めています。「10件15人」の壁を破るために各位のご協力をよろしくお願いします。

報道関係者各位 内閣府での取材については支援室にお問い合わせ下さい。